

2011年3月25日

株式会社日立メディコ

執行役社長 三木 一克

東北地方太平洋沖地震の被災者の皆さまへの支援について

このたびの東北地方太平洋沖地震で被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

株式会社日立メディコ(本社所在地:東京都千代田区、執行役社長:三木一克、資本金 138 億 8 千 4 百万円)は、このたびの地震による被災地の復興支援のため、日本赤十字放射線技師会に移動型 X 線装置 5 台及びポータブル超音波診断装置 5 台の貸し出しを決定しましたのでお知らせします。

【貸し出し装置の概要】

1. 移動型 X 線装置(5 台)

(1) 移動型 X 線装置「Sirius Ubiquitas」(2 台)

CR 読取装置を搭載しているため、撮影後その場ですぐに X 線画像を確認でき、被検者への次処置を迅速に行うことが期待できます。

(2) インバータ式コードレス移動型 X 線装置シリウス 130H シリーズ(Sirius Star Mobile) (3 台)

大容量かつコンパクトなボディで、狭いベッド間の走行も容易です。また、コンパクトで軽く動かせるパンタグラフアームにより撮影距離を長くとることができ、被検者のポジショニングもスピーディーに行えます。

2. ポータブル超音波診断装置「MyLabFive」*(5 台)

15 インチ高解像度液晶モニタをシステムに組み込んだコンパクトな装置です。内蔵のバッテリーで稼動が可能で、可搬性に優れています。

* 本装置は、イタリアの ESAOTE (エサオテ) 社から日立メディコが輸入販売しています。

以上



移動型 X 線装置「Sirius Ubiquitas」